

どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

放水路をつくり、浸水被害が多発する地域へ流す水の量を減らします

地元の声

・大雨が降ると蚊沼川はいつも溢れそうになるので被害が出ないか心配。(地域住民)

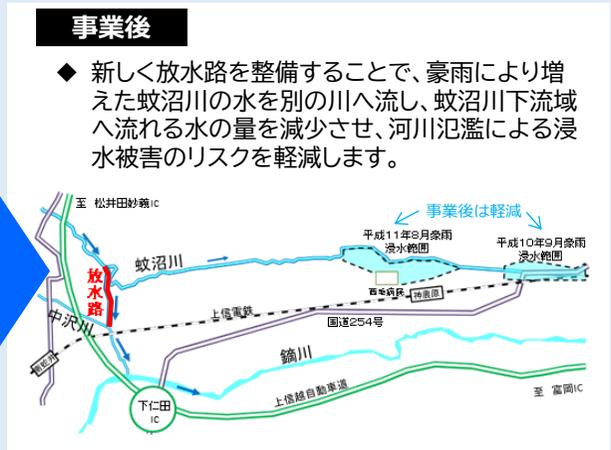
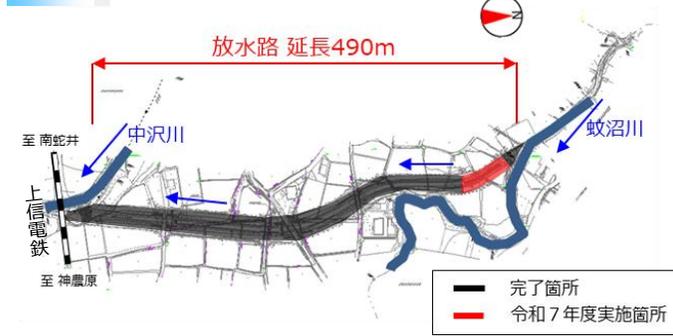


事業の概要

- 事業箇所: 富岡市中沢～蚊沼
- 事業内容: 放水路整備 延長 490m
- 事業期間: 平成27年度～

- 現在の流下能力: 約15m³/s(本川)
- 計画流量 : 30m³/s(放水路)

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度に暫定供用を開始して河川氾濫による浸水被害のリスクを軽減しました。令和7年度は残る護岸工事等を実施し、放水路整備が完了する予定です。



事業前の状況

成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	55.1ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	86戸
想定氾濫区域内の主な公共施設	国道、鉄道、病院

事業後の状況

実施後(目標)
0ha
0戸
0施設

※蚊沼川の河道改修完了後